

週間漁海況情報 2021年第28号

令和3年7月20日発行

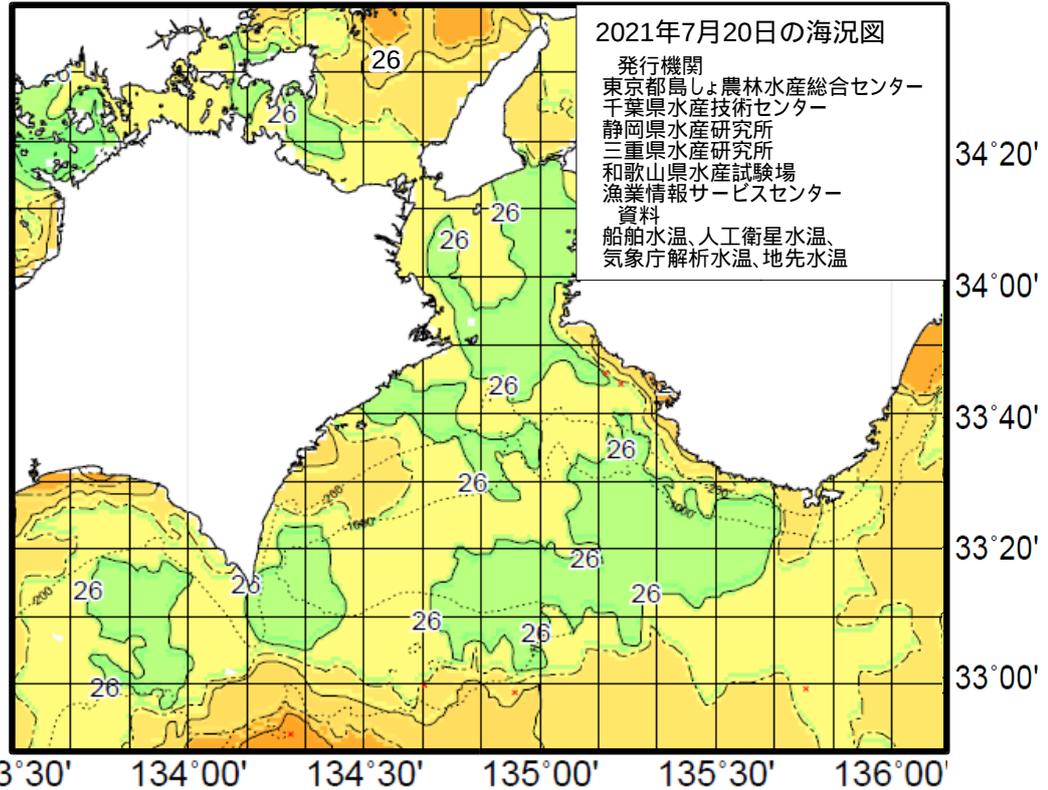
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖48マイル、潮岬沖74マイルを流れ、室戸岬、潮岬沖で「やや離岸」となっている。

黒潮から本県海域への暖水波及は弱まっている。黒潮の表面水温は27～28 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸ともに25～26 台となった。



黒潮の離接岸の表現

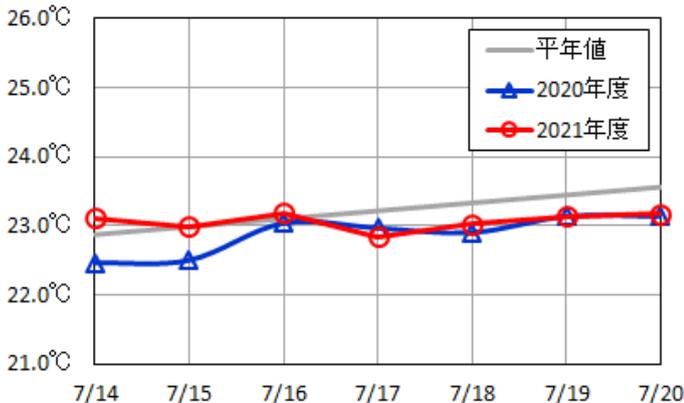
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

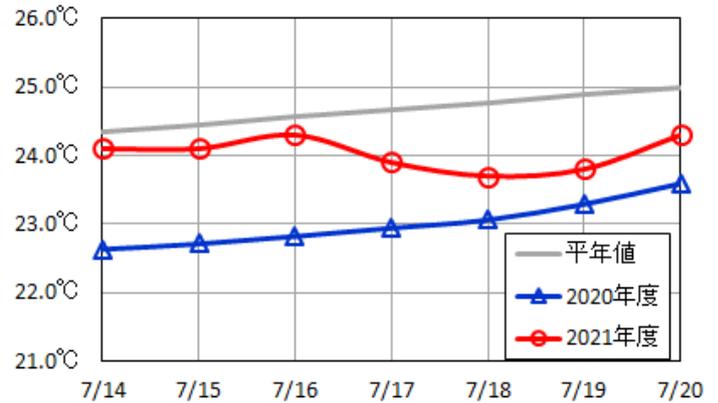
2. 地先水温(2021年7月14日～7月20日)

鳴門地区の水温は「平年並み」の22.8～23.2、日和佐地区は「平年並み」から「やや低め」の23.7～24.3 で推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.7～1.1 になった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(7月21日～7月27日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」で、潮岬沖で「離岸」から「著しく離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区で「平年並み」、日和佐地区で「やや低め」から「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (7月12日～7月18日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが12.5ト水揚げされた。
 釣りでは、イサキが大主体に0.6ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが増えて中主体に10.9ト、タチウオが特大主体に0.4ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが増えてはまち級主体に1.6ト、イサキが減って大主体に0.6ト、マダイが0.4ト、マサバが大きく増えて大主体に0.4ト、マアジが減って0.3ト、カワハギが減って大主体に0.2ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが増えて中主体に9.3ト、マダイが0.6ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが大きく増えて0.4ト水揚げされた。
 延縄では、キダイが大主体に0.5ト、アカムツが大きく増えて0.5ト、あまだい類が0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、マサバが増えて2.5ト、マアジが減って豆アジ主体に0.7ト、ウルメイワシが大きく増えて0.6ト水揚げされた。
 大型定置網では、マサバが大きく減って小主体に5.3ト、マアジが大きく減って0.7ト、小魚類が大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	48	シラス	12,500	260		→
	釣り	22	イサキ	607	28	大主体	→
	延縄	83	ハモ	10,933	132	中主体	
		49	タチウオ	359	7	特大主体	→
	小型定置網	21	ブリ	1,559	74	はまち級主体	
		19	イサキ	557	29	大主体	
		23	マダイ	398	17		→
		11	マサバ	361	33	大主体	
		21	マアジ	312	15		
		23	カワハギ	205	9	大主体	
	底びき網	52	ハモ	9,330	179	中主体	
		41	マダイ	587	14		→
	海部沿岸	釣り	5	カツオ	416	83	
延縄		28	キダイ	537	19	大主体	→
		33	アカムツ	489	15		
		26	あまだい類	212	8		→
小型定置網		10	マサバ	2,489	249		
		18	マアジ	739	41	豆アジ主体	
		7	ウルメイワシ	650	93		
大型定置網		1	マサバ	5,256	5,256	小主体	
		1	マアジ	692	692		
		1	小魚類	311	311		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: